

令和元年度第1回成田市社会教育委員会会議概要

- 1 開催日時 令和元年7月12日（金） 午後3時～午後4時30分
- 2 開催場所 成田市役所 6階中会議室
- 3 出席者（委員） 日暮健委員，村島義則委員，金子亨委員，湯浅美智子委員，
多田初枝委員，石川和信委員，鈴木隆英委員，松岡薫委員，
大竹博委員
（事務局） 関川教育長
石毛教育部担当次長
神崎生涯学習課長，麻生副参事，成毛社会教育係長，
小野寺青少年教育係長，中山文化財係長，田島副主査

4 議事

- (1) 委員長及び副委員長の選出について
- (2) 平成30年度事業実績及び令和元年度事業の概要について
- (3) 生涯学習課所管事業における課題について
- (4) その他

5 会議の内容

- (1) 委員長・副委員長の選出については，委員の互選により，委員長に日暮委員，副委員長に村島委員を選出した。
- (2) 平成30年度事業実績及び令和元年度事業の概要について，事務局から説明して承認された。
- (3) 成田市生涯大学院について，受講生を増やしていく方策について事務局から意見を求めた。
- (4) 平成30年度視察研修の結果及び印旛郡市社会教育振興大会について，説明した。

《発言要旨》

(3) について

①質疑

委員：今年度生涯大学院に52名入学とのことだが，年齢構成はどのようになっているか。

事務局：正確な数字は把握していないが，入学者は70歳以上が多い。

委員：何歳から入学できるのか。

事務局：60歳以上から入学できる。

委員：カリキュラム別の人数はあるのか。

事務局：クラス単位で行動しているのでカリキュラム別の数字はない。クラス別で1

年生が 52 名,2 年生は 42 名,3 年生は 50 名で各学年を 2 クラスに分け、それぞれのクラスで学習していく形態をとっている。
イメージは小学校、中学校のようなイメージである。

委員：アンケートは実施しているのか。その結果はどうか。

事務局：毎年在校生にアンケートを実施している。座学などの受け身の授業が多いので学生主体で活動できるようなカリキュラム構成を求めている意見もあった。いずれにしろ、多くのご意見があるので毎年度アンケートを参考に少しずつカリキュラムに変化をつけている。

委員：進級要件はあるのか。

事務局：8 割出席で進級である。

委員：生涯大学院以外の方にアンケートを取ったことはあるか。

事務局：3 年前に明治大学・成田社会人大学の受講生の方に実施したことがある。

②委員からの意見

- ・年金の受給年齢が引き上げられ 60 代の方が再任用等で働きにでているので、すぐに自分の趣味や余暇の時間に移ることができない。人を集めることは難しいのではないか。
- ・ヨコとのつながりだけでなく、タテの交流で世代間交流ができるカリキュラムを導入してはどうか。具体的には小学校等への訪問など若い世代との交流が必要だと思う。
- ・現在は入学の時期でクラス編成しているが、60 代と 70 代と体力に差があるのでクラス編成を年代別にしてみてはどうか。
- ・公開講座を実施してはどうか。
- ・3 年は少し長すぎるので、まずは仮入学のような形で実施も必要ではないか。
- ・テーマがものすごく多岐にわたっている。60 代の方は特に退職されたばかりで、知識も豊富なので、もっと専門性が高く短期集中で目標が達成できるようなカリキュラム作りが必要である。
- ・自分なら入学してみたいと思うのだが時間がない。
- ・日中の参加が難しいと思う。夜に開催するなど、時間帯も考慮したほうがよいのではないか。
- ・短期集中講座を実施してはどうか。
- ・3 年間の通学だと参加者は少ないと思う。
- ・広報だけではなく、ホームページの活用など、周知についても工夫が必要である。
- ・もはや高齢者の定義が曖昧なので、年齢制限を撤廃し、世代間交流を促進してはどうか。
- ・小中学校に訪問し、日本伝統の遊びのコマやメンコなどを教えたりするなど後世に伝えていくようなカリキュラムを実施してはどうか。
- ・SNS などをもっと活用してはどうか。

(4) について

①委員からの意見

- ・ 明治大学・成田社会人大学の教養文化のカリキュラムが一昨年に比べ様変わりし、私も受講してみたいという内容である。

6 傍聴

1名